

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020140

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	3 社会参加の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	敬老会賄費等助成事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	自治会等	関係課	#N/A	
事業指標	助成対象人数		#N/A	
事業目標	全対象者への助成	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	有 各自治会等(主催)	関係例規・法令名	有 雄武町敬老会賄費等助成事業要綱	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	敬老会賄費を助成する。 対象者 75歳以上 1名あたり 2,000円	敬老会賄費を助成する。	敬老会賄費を助成する。	敬老会賄費を助成する。	敬老会賄費を助成する。	敬老会賄費を助成する。	
	事業費(千円)	8,488	1,614	1,664	1,684	1,746	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	8,488	1,614	1,664	1,684	1,746		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,056	1,606	1,598	1,608	1,618	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	8,056	1,606	1,598	1,608	1,618		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 803人×2,000円	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 799人×2,000円	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 804人×2,000円	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 809人×2,000円	(実施内容等) 敬老会賄助成 支給人数 813人×2,000円	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 全対象者への助成	年度達成率 100%	年度達成率 96%	年度達成率 95%	年度達成率 93%	年度達成率 91%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度目標値 全対象者への助成	年度達成率 19%	年度達成率 38%	年度達成率 57%	年度達成率 76%	年度達成率 95%
	備考欄						

事業名	敬老会賄費等助成事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係	中西 厳太

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	満75歳以上の高齢者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	助成対象人数		
【抱える課題やニーズは】	人口の高齢化が進み、高齢者等が健康で安心して暮らせる長寿社会づくりが望まれている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	長寿を祝福し、長年の労を労い、敬老思想の高揚につなげていく。	① 助成実績	目標年度		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	長年にわたり社会に貢献された高齢者に対して敬意を表し、地域における敬老精神の高揚に寄与する。		目標値	平成29年度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	敬老会賄費の助成	満75歳以上の高齢者数を把握し、自治会長等に確認を行い、自治会等における人数を確定させたうえで、賄費を助成した。	実績値	813名	
			達成度	100.0%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】			②	目標年度	平成29年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	敬老の節目を迎える高齢者に対し、敬老会を開催し長寿を祝福することは、長年の労苦に対する敬老思想の高揚を図るため必要性が高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	敬老会に係る賄費を助成することで、高齢者自らが健康増進に努める意欲の向上が図られ、敬老会の開催などで町民の敬老思想の高揚が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	敬老会賄費の助成については、雄武町敬老会賄費等助成事業要綱に基づき実施している。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各自治会等が実施する敬老会等に対して助成しているのが公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
高齢者自らの健康増進に努める意欲の向上のため敬老会の開催に係る賄費の助成は必要性が高く、高齢者福祉の向上を図るうえでも適当である。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
敬老会の開催は、敬老の節目を迎える高齢者や自治会等にも受け入れられており、最低限の助成は行うべきと考えられ、継続することが適当である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止